

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2010年9月1日発行

夏休み子どもさんかくカレッジを皮切りに、いよいよさんかくカレッジのシーズンに突入しました！  
9月は、男性向けスイーツ講座（受付終了）、更年期対象健康支援講座（受付終了）、子育てママの再チャレンジ講座「輝く笑顔のワタシ発見」（追加募集中）を、さらに10月には、「家族みんなで家事上手」と「働く女性のための未来計画&セルフマネジメント講座」を実施します。  
また、さんかくカレッジ以外にもおしゃべり会や映画会など企画しています。ぜひご参加ください。



## 夏休み子どもさんかくカレッジ、終了しました！

「はもりあ四日市」をもっとたくさんの人に知ってもらいたい、夏休み中に親子で楽しい時間を過ごしてもらいたい、そして、ちょこっと男女共同参画について考えてもらいたい、との思いから3年前にはじめた「夏休み子どもさんかくカレッジ」。今年度は、計84人の皆さんにご参加いただきました。

### 【8月11日 男女共同参画クイズと工作】

布に小石を置いて輪ゴムでしばった絞り染めと、野菜の切り口を使ったハンコを巾着袋等に押ししたりして、参加者全員が、世界で一つだけの素敵な作品を作りました。



作品持ってハイポーズ！

### ＜うちのしごと、だれがやってる？ 寸劇&アンケートを行いました！＞

子育て応援グループ「大好きパパ応援団」の皆さんにご協力いただき、寸劇と、洗濯、食事作りや掃除など52項目の家の中の仕事について、誰が担当しているかをお父さん、お母さん、子ども、そのほかの人の4つに分け、シールを貼って、参加者みんなで男女共同参画の視点で考えました。

参加したお母さんからは、「家のことは「ママのおしごと」というのが当たり前に思われていたので、そうではないということを考えてくれるきっかけができてよかった」という意見が、また、お子さんからは、「ママの仕事は毎日いっぱい。僕も手伝う」という声があったりと、家族の助け合い、協力について考える機会となりました。



うちのしごと、だれがやってる？  
アンケート結果

（アンケート結果は、9月いっぱい、はもりあ四日市に掲示してあります。）

### 【8月21日 大好きパパとそばうち体験】

「三たてそばの会」の皆さんのご指導により、1家族1鉢を使い、お父さんとお子さんで協力してそばを作りました。そば粉に水を加え、こねて、まとめて、面棒で伸ばして、たたんで包丁で切る。最後は、自分たちのつくったそばをゆでて、出来立てをいただきました。

「いつも仕事でいそがしいパパと作れたからよかった」というお子さんの素敵な笑顔が、私たちにとっても忘れられない1日となりました。



小さなそばうち職人！

# 平成 22 年度『第 1 回男女共同参画審議会』を開催しました！

本市では、四日市市男女共同参画推進条例に基づき男女共同参画審議会を設置し、11 人の市民代表の委員の皆さんに、年 2～3 回のペースで、本市の施策についてご協議いただいています。

8 月 26 日に平成 22 年度第 1 回審議会を開催しましたので、会議の内容について少しご紹介します。

## <男女共同参画プランよっかいち 実施計画の策定について>

平成 21 年度に策定したプランの実施計画の策定にあたり、国の第 3 次基本計画との整合や本市の新総合計画との整合について事務局から説明し、そのうえで男女共同参画プランよっかいちを推進していくための何年までにどこまで進めるかという“指標”について協議していただきました。

事務局案を基に、委員の方々から「審議会等の女性委員比率の向上も大切だが、委員の質の向上のための研修等も必要」「男女共同参画の視点をすべての分野に入れていくためのチェック体制の強化が必要」「女性委員登用率の目標値 40%は、他市と比べ先んじているが、市の女性管理職が、他市と比べて少なすぎる」等々の意見をいただきました。



<審議会の様子>

## <今年度からの新たな取組について報告しました！>

本市の 22 年度末までの審議会等における女性委員登用率目標値 40%の達成のため、「四日市市審議会等女性委員登用推進要綱」の改正を行ったことや、現在検討中の「DV 被害者支援共通シート」の導入の目的・使用方法について説明し、ご意見をいただきました。

今後も男女共同参画社会の実現を目指し、各種施策を推進していくために委員の皆さんとともに頑張っていきたいと思っております。

## デート DV 予防啓発教材

# 「人と人とのよりよい関係をつくるために」を内閣府が作成しました！

### 【なぜ作成したのか？】

内閣府が平成 20 年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」では、10～20 歳代のときの交際相手から被害を受けた経験があったと回答した方が、女性 13.6%、男性 4.3%いました。このように、若年層の男女間における暴力(交際相手からの暴力)が顕著化しています。そこで今回、内閣府は、若年層に対して、交際相手や配偶者からの暴力の問題について考える機会を提供することにより、男女間における暴力の防止に努めようと、「若年層における交際相手からの暴力の予防啓発教材」を作成しました。

### 【自分と相手、お互いにとって大切なこととは？】

教材には、相手が自分の意見と食い違ったとき暴力を振るうケース、好きな相手のことを束縛し他の人との付き合いを制限されるケース、好きな相手のために自分の気持ちを我慢して相手の言いなりになるケースが紹介されています。

交際相手だけでなく、自分の周りの人たちとよりよい関係をつくるために、「暴力を認めない」「自分のことを大切にする」「相手のことも大切にする」の 3 つが大切なことだと書かれています。

若い頃に、お互いを尊重しあう対等な関係を作っていくことの重要性を学ぶことは、自分自身が暴力の被害者にも加害者にもならないためにも、将来的にパートナーとの幸せな関係を築くためにも重要です

四日市市は、DV 防止のための若年層に向けての取組として、「デート DV」についての学習機会の提供を進めています。あらゆる暴力を許さないという意識を広げ、暴力の発生を防止できるよう、今後も啓発に努めます。





フランスは、フランス革命によって生まれながらにして人が持つ「基本的な人権」を確認した国です。

しかし、女性の社会進出はヨーロッパ諸国の中でも遅く、女性に選挙権が認められたのは1944年。日本とほとんど変わりません。今回は、近年、遅れを取り戻すべく女性の社会進出のための積極的な措置を取っているフランスについて紹介します。

### 【憲法を改正し、世界初の男女半々の政治的平等を法律で制定！】

1997年6月当時、国民議会の女性議員比率は、10.9%。当時のEU加盟15カ国中14番目という状態でした。この状況を改善するため、1999年6月、フランスは憲法を改正し、選挙において男女の政治参画平等を進めることを憲法に明記しました。そして、2000年には、「公選職への女性と男性の平等なアクセスを促進する法律（パリテ Parité 法）」を制定し、比例代表の候補者名簿を男女同数とするよう政党に義務づけました。この法律には、政党は候補者を男女同数にしなければ、政党助成金が減額されるといった具体的罰則まで盛り込まれています。

パリテ：男女同数という意味

### 【パリテ法制定後、選挙の結果は・・・】

国民議会の女性議員比率は18.9%(2007年)で、パリテ法制定前からは飛躍的に伸びていますが、北欧諸国と比べると依然として低い状況です。しかし、日本の市町村議会にあたるコミューン議会では、2001年の選挙で、選挙前の25.7%から47.4%になるなど、女性の政策決定過程への参画が劇的に拡大しました。

2010年7月末現在、フランスの女性議員比率は、184カ国中64位（日本は94位）。順位は、まだまだ低いですが、行政・雇用の分野にもパリテの精神が浸透するなど、女性の進出は少しずつ広がっています。

## 今月のおすすめ本

今月は、「更年期」をテーマに2冊の本を紹介します。この2冊は、「はもりあ」で貸出できます。



### 名医の言葉で病気を治す 「男と女の更年期」

「更年期」とは、20、30代の妊娠・出産の準備状態である「性成熟期」から、非生殖期である「老年期」へと移りゆく過程にある過渡期にあたります。更年期は、誰もが通る人生の曲がり角。更年期障害、治療法、更年期うつ、ポスト更年期等、女と男の更年期の症状を医師が詳しく解説している本です。



### 「男もつらいよ！」 男性更年期

男性の場合、閉経もなく、男性ホルモンも女性と比べて劇的な変化はないので、男性更年期は医学的な病気ではありません。しかし、不眠・頭痛・めまい・うつ・冷や汗などの症状を訴える男性は多くいます。

この本は、うつなどありがちな症例を具体的に紹介し、苦しんでいるのは自分だけではないんだと気づいてもらいたいとの思いから書かれた本です。

男性医師が書いた本ですが、妻の気持ちを代弁するページもあり、女性が共感できる場所が多くあります。男性だけでなく、女性のみなさんもぜひどうぞ！

## 今月のキーワード

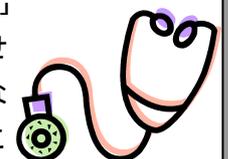
## 性差医療

性差医療とは、両性ともにかかる病気だけれど、発症や経過、予防、治療において男女差が認められる病気に対して、なぜどちらかの性に傾いているのかを徹底的に解明する医療のことです。

これまでの医学では、薬や治療の臨床実験を『成人の男性』でしか行ってきませんでした。しかし、だんだんと男性を基準とした診断方法や治療方法が、そのままでは女性にも最良の医療とはならない可能性があるということが分かってきました。

骨粗鬆症・気胸など男女比が圧倒的にどちらかに傾いている病気や、心筋梗塞など発症率はほぼ同じでも男女間でその経過に差をみるもの、いまだ生理的・生物学的解明が男性または女性で遅れている病態などの研究をすすめ、その結果をそれぞれの病気の診断、治療、予防法に反映することが重要です。

「性差医療」を「女性」「男性」の両性において実践し、発展させていくことにより、きめ細やかな医療また健康支援を提供することが求められています。



## 登録グループイベント情報

- 9月17日(金) 『すくすくの会』～乳幼児をもつお母さんの集まり～  
日頃の子育ての悩みや工夫を話し合っています。お母さんも子どもも、気持ち良く暮らすためのヒントをたくさん用意してお待ちしています。読み聞かせや手遊びなどもあります。  
時 10:00～12:00 所 四日市友の家 2階 費 大人250円 こども50円(保険料)  
持 お弁当・水筒・お食事エプロン・おしぼり等  
問・申 四日市友の会 (TEL&FAX326-2081)
- 9月18日(土) 『つみき』  
つみきを通して木と人の触れ合いで子育て環境を創る活動をしています。今だからこそ自然のものと触れる機会を増やしていきたい。事前予約も受付けています。  
時 13:30～16:00(出入り自由) 費 無料 所 はもりあ四日市 こどものへや  
問・申 NPO 幸せな家庭環境をつくる会 三重支部 (TEL345-7726)
- 9月28日(火) 『親子で公園で遊ぼう! 動物に会いに行こう!』秋のお楽しみイベント!  
お茶、お弁当、敷物を持って南部丘陵公園に集合! 現地集合・現地解散です。予約お待ちしております。詳細はお問合せください。  
時 10:30～13:30 費 300円 所 南部丘陵公園  
問・申 四日市まんなか子ども劇場 (TEL&FAX351-6670)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、<sup>たまゆら</sup>玉響の会さんです。

たまゆら  
**玉響の会**

代表 井上 光子 会員数 10名  
連絡先 059-346-8752

日常書く文字を形良く書けるようになることを目指して、普通の紙に普通の大きさの字を鉛筆で書きます。“筆で...”と構えずに、使い慣れた筆記用具で書けば草書も早く覚えられることでしょう。

一般の書道塾のように展覧会に出品する作品作りはせず、気楽に字を書く楽しさを味わいたいと思います。



### 情報紙「はもりあ」について

情報紙「はもりあ」は、各地区市民センターにおいてあるほか、はもりあ四日市の講座等を受講後、情報提供を希望された皆様にお送りしています。



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F  
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>